



2014年度 中学校2年生

職場体験事業を終えて

2014年度中学校2年生職場体験事業 へのご協力ありがとうございました。

2014年度の中学校2年生職場体験事業「地域で支えよう！町田っ子の未来探し」が、第一期9月15日～19日、第二期11月24日～28日、第三期1月26日～30日の3期に分けて実施されました。今年度は648の事業所（複数回受け入れていただいた事業所も多数あり）で3513人の生徒が職場体験をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

また、協力をご快諾いただきながら、諸般の事情により生徒の派遣が出来なかった事業所もありました。生徒の派遣が出来なかったことはとても残念ではありますが、生徒が体験する職場を選ぶにあたり、貴重な選択肢となりました。深く感謝申し上げます。

2015年度中学校 2年生職場体験実施日 及び実施校

町田市教育委員会では、2015年度も町田市立中学校の2年生約3700人を対象に連続5日間、地域の皆様のご支援のもと、職場体験事業を実施いたします。

引き続き、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2015年度の中学校 2年生職場体験事業は 次のとおり実施する 予定です

第一期 2015年9月14日～18日

南大谷中学校・鶴川中学校・鶴川第二中学校・真光寺中学校・木曾中学校・小山田中学校・堺中学校・ゆくのき学園武蔵岡中学校（8校 約1300名）

第二期 2015年11月23日～27日

町田第一中学校・つくし野

ホテルで清掃をしている様子



第三期 2016年1月25日～29日

町田第二中学校・町田第三中学校・南中学校・成瀬台中学校・金井中学校・忠生中学校（6校 約1300名）

今年度と同様に、2015年度についても3期に分けて実施する予定となっています。事業の趣旨をご理解いただき、生徒の受入等にご支援や協力をいただきますようお願いいたします。

職場体験のねらい

- 職場体験を通して、大人の働く様子から、子どもたちが自分なりの生き方を見つけていることができるようになります。
- 将来、子どもたちが直面するさまざまな課題に、柔軟にたくましく対応できる「生きる力」を身に付けさせます。
- 地域と中学生の関係を結び、地域と学校、行政が一体となって生徒の健全育成を図ります。

職場体験受け入れ先

- 町田市内および近隣市の各事業所や公共施設などを予定しています。

学習としての職場体験

- 総合的な学習の時間や特別活動、道徳の時間などを中心として、働くことの意義を学び、自分の就きたい職業などについて調べます。
- 受入先では実際に働き、事業所の方の話を聞くことを通して、体験的

自動車整備工場での様子



飲食店で下ごしらえをしている様子



● 実施後には、体験を振り返り記録や礼状などを作成したり、各学校で報告会を開いたりしています。

中学校2年生職場体験事業は、2005年度から始まり、今年度で10年目となりました。10年間で3,500箇所以上の事業所の皆様にご協力をいただき、約28,000名を超える中学校2年生が職場体験を経験しました。このように中学生の職場体験を、全市体制で実施することができたのは、職場体験事業の意義を理解し、長期にわたって受け入れてくださった地域の多くの事業所等の方々のご支援にほかなりません。そこで、これまで長期にわたり、職場体験にご協力いただきました198箇所の事業所の方々に対し、2015年2月14日土曜日に感謝状を贈呈しました。

感謝状の贈呈



各事業所から

- 実体験をすることで、生徒さんの表情にはっと気づく表情の変化が見られました。3日目は仕事も自分から探すようになりました。
- 子どもたちの緊張感が、自分たちの背筋を伸ばしてくれる思いです。改めて自分たちの仕事を見直すよききっかけになっています。
- 話を聞くとき、相手の顔を見なかったり、返事をする習慣がなかったりしたようですが、毎度注意して最終日にはできるようになりました。素直なので教えが良かったです。

体験生徒から

- 大変だったけど職場の方が支えてくれて、とても楽しい4日間でした。この4日間を忘れずに中学校生活をしっかりやろうと思いました。
- 職場体験で大人が働く大変さがわかりました。親に感謝の気持ちを伝えたいです。
- 普段の学校生活では学べないことを学びました。将来への視野が広がりました。
- 自分の仕事に誇りをもっている人と出会って貴重な話を聞くことができました。

アンケートからの 貴重なご意見

学校から

- 職場の方の対応に感謝しています。
- どこも好意的で、教育的な意識を持って生徒に接してくださいました。感謝の一言に尽きます。
- 子供たちにとって大変有意義な体験になったと思います。

保護者から

- 体験先の方々には最初から最後までとてもよくお世話をしていただいたそうです。普段はあまり話をしない子が、その日の様子を話すようになりました。
- 働くと言うことの意味、大変さを直に体験できたと思います。「お父さんが疲れて帰ってくるのがよく分かった」ポツリと言った言葉が印象に残っています。
- とても有意義な活動であると思います。受入先の方々に親として感謝の気持ちを伝えたいです。